



令和2年10月27日

各 位

会 社 名 東海旅客鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 慎
(コード番号 9022 東証、名証各第1部)
問合せ先 執行役員広報部長 武田 健太郎
(TEL. 052-564-2549)

子会社における業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である日本車輛製造株式会社が、業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正を公表しましたので、別添のとおりお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績への影響は軽微です。

以 上



2020年10月27日

各 位

会社名 日本車輛製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 一弘
(コード：7102 東証、名証第1部)
問合せ先 総務部長 永田 健一
(TEL 052 - 882 - 3316)

2021年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年7月30日に公表しました2021年3月期第2四半期（累計）および通期の業績予想につきまして、2021年3月期第2四半期（累計）については本日発表の実績値との間に差異が生じたほか、通期の業績予想については最近の業績の動向等を踏まえ下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績値との差異 （2020年4月1日～2020年9月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 47,000	百万円 1,900	百万円 2,000	百万円 1,800	円 銭 124.71
実績値(B)	45,259	3,183	3,377	2,519	174.58
増減額(B-A)	△ 1,741	1,283	1,377	719	—
増減率(%)	△ 3.7	67.5	68.9	39.9	—
(参考) 前期第2四半期連結実績 (2020年3月期第2四半期)	46,037	3,511	3,608	3,191	221.08

2. 差異の理由

売上高は、建設機械事業が想定よりも低調に推移したことから、減少いたしました。
利益は、鉄道車両事業における原価の低減などにより利益率が向上したことに加え、第2四半期業績予想に織込んでいた販売費及び一般管理費が想定よりも抑えられたため、増加いたしました。

3. 2021年3月期通期の連結業績予想値の修正
(2020年4月1日～2021年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	95,000	4,100	4,200	3,500	242.49
今回修正予想(B)	96,000	6,000	6,200	4,900	339.49
増減額(B-A)	1,000	1,900	2,000	1,400	—
増減率(%)	1.1	46.3	47.6	40.0	—
(参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	94,634	8,538	8,641	7,895	547.00

4. 2021年3月期通期の個別業績予想値の修正
(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	94,000	4,100	3,500	242.48
今回修正予想(B)	95,000	6,000	5,400	374.11
増減額(B-A)	1,000	1,900	1,900	—
増減率(%)	1.1	46.3	54.3	—
(参考) 前期個別実績 (2020年3月期)	92,726	8,535	12,326	853.99

5. 修正の理由

売上高は、連結・個別ともに、鉄道車両事業が堅調に推移していることから、増加する見通しです。

連結・個別の営業利益および経常利益は、売上高が増加することや、鉄道車両事業における原価低減などにより利益率が向上していることに加え、販売費及び一般管理費が想定よりも抑えられることから、増加する見通しです。

連結の親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が増加することから、増加する見通しです。個別の当期純利益は、経常利益が増加することから、増加する見通しです。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以 上